



# 川口の教育



【令和4年度 川口の元気 第7回中高生未来を拓くふれあいトーク（令和4年7月19日）】

## 第639号

### 【目次】

指導の手引き 「小学校外国語活動・外国語科の授業を一層充実したものにするために」	
川口市教育局学校教育部指導課 指導主事 蜂谷 太郎	・・・(2)
文化財センターの紹介 「川口鑄物の名工・高木 喜道 をご存じですか？」	
教育総務部 文化財課	・・・(3)
私の教育実践 「自立的、協働的な問題解決を促す数学の授業実践～ミライシードの活用～」	
川口市立芝西中学校 教諭 宮下 智洋	・・・(4)
教育ルポ	・・・(5)～(6)
令和4年度 埼玉県学校総合体育大会結果（中学校の部）結果	・・・(7)～(8)

題 字 川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平

8 月号

—令和4年—

編集・発行 川口市教育委員会

## 小学校外国語活動・外国語科授業の一層の充実

川口市教育局学校教育部指導課 指導主事 蜂谷 太郎

### 1 はじめに

小学校学習指導要領（平成29年告示）が全面実施となり、3年目を迎えます。各学校においては、支持的な学級風土をベースとし、様々な工夫を凝らした授業が行われています。しかし、指導にあたっては不安があるとの声も聞きます。

そこで本稿では、外国語活動・外国語科の授業における「言語活動」について改めて取り扱うとともに、言語活動を柱とした授業をより一層充実するためのポイントを示します。

### 2 「言語活動」を柱とする指導の充実

外国語活動・外国語科においては、目標として「コミュニケーションを図る素地または基礎となる能力を言語活動を通して育成すること」と掲げています。

外国語活動・外国語研修ガイドブック（p.23）では、「言語活動」は、「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う活動」のことであると記載されています。言語活動を行うためには、実際にありそうな目的や場面、状況などを設定する必要があります。設定にあたっては、児童の実態把握が特に重要となります。

また、「言語活動」を柱とする授業実践を行う際は、実際の使用場面を設定した活動が想定されます。以下の4点を特に大切にしてください。

①言語活動を行う目的や場面、状況などを明確に設定する。

⇒「何を、どう話そうか」考えたい場面設定

②児童の興味・関心に合っており、友達と関わり合える題材設定をする。

⇒「話したい」と思うような内容

（身近で具体的なもの）

③児童にとって「簡単な語句」・「基本的な表現」を言語材料とする。

④互いのよさを認め合い、間違いから学びあえる学級集団である。

特に意識してほしいのが「④互いのよさを認め合い、間違いから学びあえる学級集団である」ということです。これは、外国語活動・外国語科に限らず、学級経営のうえでとても重要なことですが、目標に「コミュニケーション」という言葉が入っている外国語活動・外国語科だからこそ、特に意識してほしいものです。同時に、外国語活動・外国語科の授業を通して、学級集団を育成するという思いで、日々の授業づくりを進めてみてください。

また、指導にあたっては「中間指導」も大切にしてください。児童が活動する中で、もっと知りたいこと、うまく言えずに困っていることなどが出てきます。それをクラスで共有し、解決することで、クラス全体の深い学びにつなげることが期待できます。

### 3 「帯活動」の充実

前述のとおり、授業の中心は「言語活動」です。しかし、既習事項を繰り返し使用する場面を設定することも大切です。単元、学期、1年間のゴールを見据えた積み重ねを意識して設定してください。「小さな変化のある繰り返し」「児童が楽しみにする活動」をキーワードに、各学校・学級の実態に合った活動を設定してください。

#### <帯活動の具体例>

- ・曜日、月・日、天気等を尋ねて答える活動
- ・既習事項を使ったスモールトーク
- ・単語カードを使った活動

### 4 GIGAスクール端末の有効活用

#### <ミライシード>

「Challenge English for School」

（小3～小6の端末で使用可能）



クイズ形式で単語・文字・表現・フォニックスなどの学習ができます。

「Speaking Quest」（小5・小6の端末で使用可能）



AIによる正誤判定ができるパフォーマンステストです。練習モードは繰り返し取り組むことが可能です。

#### <学習者用デジタル教科書>（小5・小6の端末で使用可能）

今年度、外国語科では、文部科学省の実証事業により、小学校5・6年生及び中学校1～3年生において、学習者用デジタル教科書が使用可能です。教科書本文の音声を繰り返し聞くこと、チャンツなどの音声を各自のペースで聞くことなど、一人一人のペースで学習することができます。

### 5 おわりに

教師はコミュニケーションの相手であり、モデルである。

児童は、教師やALTの授業中の受け応えにより「自分の英語が通じた」「自分のことを伝えることができた」と自己肯定感を高めたり、互いに伝え合う喜びを感じたりすることができます。

また、教師が児童とともに、実際にコミュニケーションを行いながら授業を進めることにより、教師が児童にとっての良きモデルとなることも大切です。

授業においては、ALTとの連携のもと、児童が「本当のこと」「自分が伝えたいこと」を話す場面を数多く設定していただくとともに、教師がそれを共感的に聞くことも大切にしていきたいと願っています。

#### <参考資料>



MEXT チャンネル研修動画（文部科学省）

文部科学省の視学官による動画での説明が公開されています。

## 1 伝説の焼型師・高木喜道

川口鑄物業史における名工として、江戸時代末期から昭和戦前期に三代にわたって火鉢・鉄瓶・壺などの美術工芸鑄物作品を制作した焼型鑄物師、高木喜道がおります。彼は、明治初期には永瀬庄吉らとともに「川口三名人」と称され、後世は鈴木文吾をはじめ多くの鑄物師たちに尊敬され、技術向上の目標とされ、模範とされました。

初代喜道（藤次郎）は、火鉢を得意とし、渡り職人として全国の鑄物産地を廻り、技術を研く修行の旅を重ねながら作品を造り、その名は全国に知られ、明治13年に没しました。

二代目喜道（角次郎）は、初代同様に渡り職人として修行の旅に明け暮れ、火鉢と鉄瓶、竜の彫刻を得意としました。寅次郎という寅の彫刻に優れた兄がいましたが、性格の温厚さから角次郎が二代目を継ぎ、大正9年に没しました。

三代目喜道（藤太郎）は、第二次大戦前まで美術工芸鑄物を造りましたが、金山町に工場をかまえ、戦後は生型の機械鑄物を造りました。

## 2 高木喜道の鑄造技術と作品

高木喜道は、大水後の荒川から採ってきた鑄物に適している砂を特に使って鑄型を造りました。金枠を用いず芯金の入った粘土と砂を練って挿り鉢状に焼いた型枠に、真土をつけて回し型で円形をとり、きめ細かな砂に粘土を混ぜて揉みあげます。次に、鑄型が半乾きになった時に、木型を用いずに何種類もの竹製へらを使って切り出して竜などの彫り物をする、「ウラボリ」というきめ細かな造型技法を行いました。それは、抜け出てきそうな彫刻であるといい、喜道の技を「キドウヅクリ」とも称しました。

現存する作品としては、二代目喜道と永瀬庄吉・小川治郎吉との共同作品である千葉県成田山新勝寺にある照輪上人の鑄造碑、群馬県太

田市の新田寺（呑竜さま）の手洗い鉢などがあります。

## 3 有形文化財 鉄製火鉢

（明治35年1月喜道造ノ銘アリ）

平成28年4月、二代目高木喜道が明治35年に製作された火鉢が二口、市の歴史上・美術上貴重な工芸品として、川口市有形文化財に指定されました。

この火鉢は、かつての第一電製作所社長高橋八郎氏のご子息から市へ寄贈されたもので、総高35.6cm・最大経42.9cmのもの、総高35.4cm・最大経47.9cmのものが一對となっています。雲と波、雷光に、雌雄一對の下り竜と昇り竜が阿吽を表現した意匠で、竜の胴体や鱗が美しく仕上げられており、観る者にまるで竜が浮き出てくるような印象を持たせるよう造られています。現在、鳩ヶ谷本町の文化財センター分館・郷土資料館にて展示公開されています。



# 自立的、協働的な問題解決を促す数学の授業実践 ～ミライシードの活用～

川口市立芝西中学校 教諭 宮下 智洋



## 1 はじめに

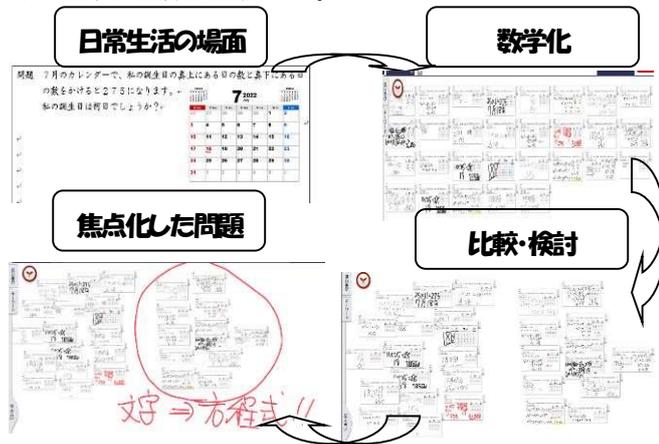
学習指導要領(H29)告示では、算数・数学の学習過程のイメージが図に示され、数学的活動における問題発見・解決の二つの過程を意識しつつ、生徒が目的意識をもって事象を数学化したり問題を焦点化したり

りできることが大切であるとされている。これをもとに、生徒が自立的、協働的に問題解決ができるよう促す授業実践に取り組んできた。川口市では、令和4年6月1日からミライシードが導入され、ICTを活用することでより効率的かつ効果的に、数学的活動に取り組むことができる環境が整ってきている。私自身、授業の中でどのような工夫が必要なのか試行錯誤しながらのところではあるが、日々の実践について紹介する。

## 2 協働的な学びの促進

単元の導入においては、問題場面を数学化して課題を考える活動がある。様々な見方や考え方を出し合ったり、既習の知識・技能を今回の問題場面に関連付けたりするが、板書では伝わらなかつたり、生徒が発言をためらったりして、学習が進んでいる生徒の発言を中心に授業が進行してしまうことがあった。

そこで私は、ムーブノートを用いて意見や考えの出し合いを行っている。3学年2章「二次方程式」では、以下のように授業を展開した。



生徒は、問題場面から考えたことを自由に広場に提出し、他の生徒もそれを見て、自分のカードを作成することができる。普段なかなか意見が出せず受動的になってしまう生徒の授業参加を促し、協働的な学びができた。また、出てきたカードは容易に動かすことができるため、スムーズに比較・検討をし、焦点化された問題を設定することができた。

## 3 学習に遅れがある生徒を巻き込んだ授業

### (1) 問題演習の場面

数学の授業でよくある光景で、黒板に問題の答えを生徒に書かせて解答の確認をすることがある。時間がわか

る上に生徒から見えずらく、授業の最後まで板書を残すことができないという欠点がある。

そこで私は、オクリンクを用いて解答の確認を行っている。生徒に解答カードを作成させて、全員に送ることで生徒一人一人が手元の端末で解答を確認できる。また、カードはデータで残るため、進捗に対して遅れてしまっている生徒や欠席の生徒が後で確認することができる。数式の入力が中学生にとって困難であったが、ペイント機能で書くことができ、生徒は容易にカード作成ができることが利点である。

### (2) テストの振り返りの場面

テストの振り返りを課題として与える場合があるが、生徒の理解度に応じて役割を分け、互いにプラスになる活動となるようムーブノートを活用した。

- 理解度の高い生徒は、解説カードを作成し、広場にあげる。
- 理解度の低い生徒は、広場に上がったカードを見て、解き直しをする。
- 理解度が中くらいの生徒は、自分ができた問題の解説カードを作成し、広場にあげる。できなかった問題は、広場の解説カードを見て解き直しをする。

### 解説カード作成

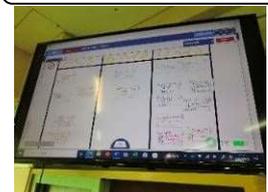


### 解説カードを見て学習



それぞれに役割があり、意欲的に取り組む様子が見られた。生徒の理解度に応じて協働的に学習を進めることができ、普段あまり友達に質問できない生徒も、テストの振り返りに参加して学ぶことができた。

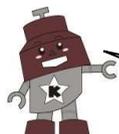
### 広場の解説カード



## 4 おわりに

変化の激しい社会に対応できる生徒を育てるためには、教員にとって現状維持は後退である。私は、様々なことにチャレンジし、気付きを得るために「まず試してみる」ことを大切に授業改善に取り組んでいる。しかし、ミライシードの活用は目的ではなく手段である。生徒自身が事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行するために、有効に活用していけるよう実践を積み重ねていきたい。

# 教育ルポ



川口市マスコット「きゅぼらん」

様々な体験を通して、たくさんの学びがありましたね。  
GIGA スクール端末の活用も進んでいますね。

## 各学校の取組の様子（1学期）

### 【新郷東小学校】



2年生 校外学習



文化庁芸術家派遣事業「子供育成総合事業」



ひまわりプロジェクト



プール清掃

### 【仲町小学校】



6年生「古代からのメッセージ（県出前授業）」



道徳授業（ミライシードを活用して）



3年生 国語書写

中堅教諭等資質向上研修 (令和4年7月28日 於：並木小学校・幸並中学校)



令和4年度 川口の元気 第7回中高生未来を拓くふれあいトーク  
(令和4年7月19日 於：本庁舎)



# 令和4年度 埼玉県学校総合体育大会(中学校の部)結果

※一部抜粋

県大会 7月8日～ 7月30日

競技種目	県大会 結果(抜粋)	
	(○印 関東大会出場 ◎印 全国大会出場)	
	男子	女子
軟式野球	ベスト8 幸並 2回戦敗退 戸塚西	
サッカー	第3位 西 2回戦敗退 幸並 1回戦敗退 東	
ソフトボール		2回戦敗退 八幡木
ソフトテニス (団体)	優勝 上青木◎○ 準優勝 芝東○ 2回戦敗退 南 1回戦敗退 里	第4位 芝東◎○ 3回戦敗退 上青木
ソフトテニス (個人)	優勝 青木・竹ノ内(上青木)◎○ 準優勝 齋藤・竹内(芝東)◎○ 第4位 舘田・金内(上青木)○ 第5位 木原・五十畑(上青木)◎○ 第6位 吉澤・山本(上青木)○ 第8位 児玉・原田(芝東)◎○ ベスト16 直井・桐山(上青木)	第5位 小林・市村(上青木)◎○ 第6位 林・木村(芝東)◎○ ベスト16 佐々木・小野寺(上青木) ベスト16 加藤・前原(上青木) ベスト16 金野・林(芝東) 4回戦敗退 野口・横倉(戸塚西) 4回戦敗退 坂井・柳川(芝東)
バスケットボール	第4位 八幡木 ベスト8 神根 不戦敗 芝	第3位 戸塚 ベスト8 神根 2回戦敗退 岸川
バレーボール	ベスト16 戸塚 ベスト16 戸塚西 2回戦敗退 青木 1回戦敗退 南	ベスト16 神根 1回戦敗退 東 1回戦敗退 鳩ヶ谷
卓球 (団体)	ベスト16 青木 ベスト16 里	ベスト8 南 ベスト16 十二月田 1回戦敗退 東
卓球 (シングルス)	2回戦敗退 土屋(鳩ヶ谷) 2回戦敗退 菊地(戸塚) 2回戦敗退 千葉(青木) 2回戦敗退 福地(里) 1回戦敗退 菖蒲谷(青木)	3回戦敗退 清水(南) 3回戦敗退 高田(鳩ヶ谷) 2回戦敗退 及川(西) 1回戦敗退 矢作(八幡木) 1回戦敗退 吳(南) 1回戦敗退 澤邊(在家)
卓球 (ダブルス)	3回戦敗退 半藤・川田(戸塚西) 2回戦敗退 梅本・妹尾(青木) 2回戦敗退 内藤・平野(鳩ヶ谷) 2回戦敗退 平澤・田島(北) 1回戦敗退 小田原・唐沢(里)	ベスト4 山本・檜垣(南) ベスト8 平嶋・山本(南) ベスト8 中島・中山(十二月田) 3回戦敗退 廣田・菅藤(十二月田) 1回戦敗退 岡田・鶴崎(十二月田)
ハンドボール	ベスト8 戸塚 ベスト8 十二月田 2回戦敗退 戸塚西 2回戦敗退 榛松 1回戦敗退 東、神根	準優勝 戸塚西○ ベスト8 戸塚 ベスト8 十二月田 1回戦敗退 榛松、東、神根
バドミントン (団体)	3回戦敗退 八幡木 2回戦敗退 在家 1回戦敗退 戸塚	3回戦敗退 八幡木 1回戦敗退 岸川
バドミントン (シングルス)	2回戦敗退 栗原(戸塚) 2回戦敗退 光部(戸塚) 2回戦敗退 芦名(八幡木) 2回戦敗退 矢作(北) 1回戦敗退 歸山(北)	2回戦敗退 慶野(仲町) 2回戦敗退 小原(八幡木) 2回戦敗退 井崎(岸川) 1回戦敗退 平木(八幡木)
バドミントン (ダブルス)	3回戦敗退 及川・木村(在家) 2回戦敗退 山下・上山(芝) 2回戦敗退 栗原・根岸(戸塚) 2回戦敗退 矢作・齋藤(北) 1回戦敗退 田尻・芦名(八幡木)	3回戦敗退 齊藤・平木(八幡木) 3回戦敗退 井崎・柵山(岸川) 2回戦敗退 大森・大澤(八幡木)

# 令和4年度 埼玉県学校総合体育大会(中学校の部)結果

※一部抜粋

県大会 7月8日～ 7月30日

競技種目	県大会 結果(抜粋)	
	(○印 関東大会出場 ◎印 全国大会出場)	
	男子	女子
体操競技 (団体)	第5位 戸塚西	第9位 芝西 第11位 戸塚西
体操競技 (個人)	第23位 小川(八幡木) 第52位 澁谷(芝西) 第60位 松枝(戸塚西) 第61位 井浦(戸塚西) 第64位 金子(戸塚西)	第21位 森(幸並) 第74位 岡崎(芝西) 第81位 本間(芝西) 第87位 小暮(戸塚西)
新体操 (団体)		優勝 戸塚西◎◎ 準優勝 芝西◎◎
新体操 (個人)		第3位 三村(芝西)○ 第16位 佐藤(芝西) 第18位 細川(芝西) 第19位 佐藤(芝西) 第27位 安田(戸塚西)
柔道 (団体)	ベスト8 西 ベスト16 上青木、安行 2回戦敗退 芝東 1回戦敗退 戸塚	優勝 西◎◎ ベスト8 戸塚 1回戦敗退 安行
柔道 (個人)	優勝 工藤(西)81kg級◎◎ 第3位 小林(上青木)90kg級 ベスト8 宇井(西)55kg級 ベスト8 崔(芝東)55kg級 ベスト8 友廣(上青木)60kg級 ベスト8 宇井(西)66kg級 ベスト8 長田(上青木)66kg級 ベスト8 伊藤(上青木)90kg超級	優勝 廣瀬(芝西)44kg級◎◎ 優勝 井田(西)57kg級◎◎ 優勝 佐野(西)63kg級◎◎ 準優勝 桐原(芝西)48kg級○ 第3位 照井(西)52kg級 第3位 直塚(西)70kg超級 ベスト8 桐原(芝西)40kg級 ベスト8 川辺(安行)40kg級 ベスト8 廣瀬(戸塚)57kg級 ベスト8 イシボ(戸塚)70kg超級
剣道 (団体)	ベスト8 北 2回戦敗退 戸塚西 2回戦敗退 幸並	第6位 上青木○ 3回戦敗退 十二月田 1回戦敗退 戸塚西
剣道 (個人)	4回戦敗退 前田(北)、上野(北) 3回戦敗退 稲毛(東)、橋本(芝) 2回戦敗退 関吉(安行)、嶺脇(芝)、齋藤(北)、岡田(芝) 関(幸並)、澤口(領家) 1回戦敗退 菊池(北)	5回戦敗退 中本(上青木) 3回戦敗退 吉田(上青木) 2回戦敗退 大江(上青木)、清水(幸並)、北原(南) 矢吹(北)、上野(十二月田)、本橋(岸川) 1回戦敗退 今村(西)、内野(青木)、大関(上青木)、岩槻(戸塚西)
陸上競技	優勝 平島(南)200m◎◎ 優勝 森(里)1年100m○ 第8位 平島(南)3年100m◎ 第8位 朱(南)砲丸投	優勝 渡邊(幸並)棒高跳 第4位 永尾(東)1年800m 第7位 慶野(仲町)1年800m
水泳競技	準優勝・第3位 南中4×100mメドレーリレー○・4×100mフリーリレー○ 準優勝・第3位 丹野(戸塚西)1500m自由形◎・400m自由形◎ 第3位 半田(南)100mバタフライ○ 第5位・第8位 井上(上青木)1500m自由形○・400m自由形○ 第6位・第9位 高山(上青木)1500m自由形○・400m自由形○ 第6位 森山(幸並)200m自由形○ 第6位 久保(南)100m背泳ぎ	優勝・準優勝 高山(上青木)400m個人メドレー◎・200m個人メドレー◎ 準優勝・準優勝 菅(幸並)200m自由形◎・400m自由形◎ 準優勝・第6位 金井(十二月田)800m自由形○・400m自由形○ 第6位・第6位 堀川(上青木)100m背泳ぎ○・200m背泳ぎ○ 第4位・第9位 藤井(戸塚西)800m自由形・400m自由形○ 第6位 由本(南)200m自由形○
テニス (団体)	準優勝 青木 2回戦敗退 小谷場	準優勝 小谷場 1回戦敗退 青木
テニス (シングルス)		第3位 島村(領家)○ 1回戦敗退 石井(領家)
テニス (ダブルス)	準優勝 北原・三浦(青木)○ ベスト8 川尻・小林(小谷場)○ 第9位 杉浦・大畑(青木) 2回戦敗退 大嶋・瀧上(青木)	準優勝 古巣・扇本(小谷場)○ ベスト8 利岡・米谷(小谷場) 1回戦敗退 佐藤・中島(青木)